バングラデシュにおける問題点と要望

	区分	経由団体※	No	問題点	問題点内容	要望	準拠法
9	輸出入規制・関税・通関規制	日機輸	(1)	高輸入関税	・バングラデシュへの製品の輸入に対し、課せられている関税が非常に高額である。(最高税率のもので837%)。 自動車等、特に機械系の製品に課せられている輸入関税が高額であり、日系企業にとって投資阻害要因となっている。 (継続)	・高額輸入関税の見直し。	
		日機輸 日商	(2)	恣意的な関税適用	・中古車輸入業者によるアンダーバリューが発生しており、新車販売ビジネスにも悪影響が及んでいる。 (継続) ・当地の高い関税率を背景に、関税を低減する目的でアンダーインボイス(実際の販売値よりも安い金額でCommercial Invoiceの価格を設定)を行う業者が多く、健全な競争となっていない。日系企業の行うビジネスの阻害要因となっている。	・税関にはアンダーバリューの取り締まりや適正な輸入価格の査定をお願いしたい。 ・通関当局のスクリーニング機能拡充、罰則規定の設定。	・関税ブック及びその運用
		日機輸 日機輸	(3)	通関手続の煩雑・遅延	・日本ODAに基づく機材輸出に関してバングラデシュでは輸入税の支払いが必要であるが、バングラデシュ施主側の輸入税の支払遅延が発生・長期化し、通関遅延が生じる。 (継続) ・Sales Contract、Proforma Invoiceの事前送付や非特恵原産地証明書の原本の提出が必須であることにより、船積書類の作成に多くの時間を要する。	・省庁間のスムーズなコミュニケーション。 ・書類の簡素化とデータ活用を推し進めていただき、効率的な業務の実現をお願いいしたい。	・関税ブック
		日機輸	(4)	担当官による通関手続の不統一	・船積書類上の記載について、税関担当官、出口加工区担当官によって要求する内容が異なるため、書類作成・訂正に要する時間だけでなく、対応ノウハウも蓄積しにくく、他の地域への輸出と比較すると非効率となっている。	・統一かつ明文化された対応基準の公開と履行の徹底をお願いしたい。	
		電機工	(5)	海上保険付保	・弊社は第三国EPCとバングラ向け機器提供のCIF契約を締結した後、バングラでは海上保険の付保規制があることが判明。最新のImport Policyはベンガル語版しかなく、日本側保険会社による付保可否の確認で混乱した。	・Import Policy Order 2021-2024　英語版の発行。	・Import Policy Order 2021-2024第二章第五条5項
11	利益回収	日商	(1)	海外送金規制	・海外送金の制限が厳しく、支払について、バングラデシュからの海外送金が困難である。機器輸出においては、リスクがある。	・バングラデシュにおける海外送金制限の緩和を希望する。	
12	為替管理	日機輸	(1)	L/C決済の遅延	・輸出縫製品に必要な原材料輸入に関する決済遅延: －AT SIGHT L/Cにも関わらず2週間―1カ月以上の決済遅延。 －開設済みL/Cに対して船積み及びクリーン条件でネゴしたにも関わらず、縫製業者の別案件製品代金回収遅れが銀行与信枠を超過した為に、当該原材料決済を遅延する。(realization clause無し) (継続)	・銀行に対する即時決済の徹底を促すよう、監督官庁・中央銀行への働きかけをお願いしたい。	

※経由団体:各個社の意見がどの団体を経由して提出されたかを表したものであり、表示団体を代表する「主張」「総意」等を意味するものではありません。

	区分	経由団体※	No	問題点	問題点内容	要望	準拠法
12		日機輸			・原材料輸入L/Cの決済日確定について、原材料輸入には120日ユーザンス付きL/Cが開設されることが大半のケース。 一覧後120日払いのL/C船積み(実態はL/C開設銀行確認後120日)と船積み段階でDUE DATEを確定できず、実質は船積み後150-160日の決済となるケースが多い。中国等海外原材料メーカーにはバングラデシュL/Cの接受を断る会社が多い。 (継続)	・長年の慣習であり変更は難しいが、国際標準へ近づくべく働きかけて頂きたい。	
		日機輸 JEITA	(2)	L/C開設の制限	・2022年半ばから顕在化した外貨準備高減少に伴い、輸入L/C開設に多くの日数がかかっている。 ・バングラデシュの外貨準備高の減少に伴い、外資流出懸念が高まったため、輸入品目に関するL/C(信用状)が発行制限されている、開設が遅れるなどが発生している。 これにより受住している案件であっても支払いに制限がかかってしまい、当社の輸出手続きを進めることが出来ない事がある。	・経済の停滞を招きかねず柔軟な政策運用をお願いしたい。 ・円滑なL/C開設を促すように働きかけを行って頂きたい。	
13	金融	日機輸	(1)	金融手続の遅延	・LC支払遅延等の送金・決済手続きに問題があることは、頻繁に指摘されているが、それ以外の手続きも全て時間がかかっており、行内での情報共有・迅速な手続きが求められる。 例えばPerformance bondの金額・期限変更一つとっても、担当者が長期不在にしている場合、全く手を付けられないことが多い。また、担当者へのメール・電話でのコンタクトを試みても、無反応のことが多々ある。手続きだけの為に、直接訪問しなければならないのは非常に非効率である。 (継続)	・行内での情報共有(担当者を複数人配置する等)、迅速なレスポンス・手続きを要請。	
		日機輸	(2)	銀行決済の遅延	・バングラディッシュ側のL/C開設者(輸入者)がOpening Bank(バングラディッシュの民間銀行)に対して支払済にも関わらず、Opening 銀行が支払いを1～3カ月程Advising銀行(邦銀)への支払いを停止している。	・支払期日の厳守。	
		日機輸	(3)	不良債権区分	・中央銀行による不良債権の区分が、支払期日到来後から下記の様に区分されている。民間銀行は海外への支払いを行わず、不良債権を出している企業は存続している。そもそも期日通りに支払わないことを認めている。 －3カ月以内:Special mentioned account －3～6カ月:Low quality default loan －6～9カ月:Suspicious default loan －9～12カ月:Bad default loan (継続)	・支払期日の厳守。	・中銀通達(Prudential regulation for banks selected issues of Jan, 2014)
15	価格規制	日商	(1)	政府による価格規制	・バングラデシュ政府のエネルギー規制委員会(BERC)価格フォーミュラより価格統制されており、利益が固定された。	・バングラデシュにおける価格統制の廃止を希望する。	
16	雇用	日商	(1)	就労ビザの期間制限	・バングラデシュの外国人赴任者において、就労ビザの期間が限定されており、最長5年以上は赴任することが困難である。	・外国人赴任者における就労ビザの期間について、緩和を希望する。	

※経由団体:各個社の意見がどの団体を経由して提出されたかを表したものであり、表示団体を代表する「主張」「総意」等を意味するものではありません。

	区分	経由団体※	No	問題点	問題点内容	要望	準拠法
17	知的財産制度運用	日機輸 時計協	(1)	商標権出願審査の長期化・手続の不備	・商標の登録証発行までに長期間要する。商標審査で、指定商品について誤記があり間違った指定商品で登録された。 ・商標登録出願の審査に時間がかかり過ぎる。同国の模倣品対策強化するために、2013年に商標登録出願を行ったが、2022年時点、審査通知が未着である。（意匠権は、出願から1-2年で迅速に登録されている）	・適正な審査と迅速な対応を実施していただきたい。 ・審理の迅速化。	
		日機輸	(2)	商標権更新手続の遅延	・商標の更新手続きに時間がかかりすぎる（更新手続きが完了する前に次の更新期限が訪れてしまう）。 （継続、要望変更）	・更新手続きの迅速化を要望する。	・商標法など
22	環境問題・廃棄物処理問題	日機輸	(1)	Hazardous Waste Management Rules 2021の不明確	・2021年6月、バングラデシュは「Hazardous Waste (WEEE：Waste Electrical and Electronic Equipment) Management Rules 2021」を公布したが、事業者が順守すべき内容の一部（情報開示の要領や、EU RoHSでは認められている除外規定の現地での認否など）が不明確であることを懸念している。 （継続）	・法令を遵守した事業展開を継続するためにも、順法対応手順を明確化した公式なガイドラインなどを現地当局が早期に発行するようお願いしたい。	・Hazardous Waste (Waste Electrical and Electronic Equipment (WEEE)) Management Rules 2021
26	その他	日機輸	(1)	物流インフラの未整備	・チョットグラム港の未整備により、大型貨物船の入港が出来ず、東アジアからの貨物はシンガポールでの積み替えを余儀なくされるだけでなく、港湾荷捌き能力の低さから、輸入原材料引き取りは本船到着後出荷先到着に2週間を要している。 深刻な交通渋滞により非効率なオペレーション・行動日程を余儀なくされ、海外企業にとって投資の阻害原因となっている。 短納期対応が世界の潮流となっており、これらの欠点が競合国対比クローズアップされ、最重要輸出品目である縫製品輸出の成長阻害になり得る。 （継続）	・至急必要なインフラ整備を行うよう、バングラデシュ政府へ働きかけ頂きたい。	
		日機輸	(2)	エネルギー政策の不合理	・天然ガスの需給バランスの継続的供給不足が続いており、ガス自家発が一般的な繊維工場やガスを原料とする肥料産業等の開発にもボトルネックとなっている。 ガス価格の値上げが不定期に起こっており、安定した事業計画を立てづらくなっている。 （変更）	・「ガス供給」及び「産業に応じた事業性を維持できるレベルでのガス価格合意」を政府に働きかけ頂きたい。	
		日機輸	(3)	政情、治安の不安定化	・現ハシナ首相率いる与党アワミ連盟が長年政権与党の座についているが、2023年末～24年初に予定されている次回総選挙に向けて野党BNPの巻き返しがあるとの予測から与野党間のせめぎあいが激化しており、治安面の不安が増している。 （内容、要望ともに変更）	・警察機能の適切なる治安能力の発揮をバングラデシュ政府に促して頂きたい。	
		日機輸	(4)	不当な金銭要求	・輸入通関時などに、コンプライアンス上問題となる金銭の要求をされるケースが現地の慣習としてあるとのこと。正常な手続きを行う場合、非常に多くの時間がかかり、営業活動が阻害されている模様。 （内容、要望ともに変更）	・ハラスメント防止策・モラル向上策を打ち出すようバ政府に促してほしい。	

※経由団体：各個社の意見がどの団体を経由して提出されたかを表したものであり、表示団体を代表する「主張」「総意」等を意味するものではありません。